



東中だより

夢を追え、自らを高めよ
—学べ・磨け・輝け—

1月号

さいたま市立東浦和中学校

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1207-1

☎ 048-873-4141

令和4年12月23日 発行

未来の自分はどうなるかわからないから、今やるべきことを限定しない

校長 遠藤 浩之

全国の小・中・高校生3,000人を対象として、第一生命保険株式会社が毎年行っている「大人になったらなりたいもの」のアンケート調査結果を見る機会がありました。

中学生男子		
順位		前回順位
1位	会社員	1位
2位	公務員	3位
3位	ITエンジニア プログラマー	2位
4位	ゲームクリエイター	5位
5位	教師	9位
6位	You Tuber	3位
7位	サッカー選手	7位
8位	鉄道運転士	6位
9位	野球選手	10位
9位	eスポーツ選手	10位
11位	医師	7位

中学生女子		
順位		前回順位
1位	会社員	1位
2位	看護師	3位
3位	医師	7位
4位	公務員	2位
4位	幼稚園の先生 保育士	6位
6位	パティシエ	4位
7位	教師	5位
8位	美容師	10位
9位	漫画家	ランク外
10位	獣医	ランク外

結果の分析によれば、ポイントは2つ。1つ目は、子どもたちが「働きやすさ」を求めて会社員になりたいと思っているということ。アンケートでは、なりたい理由に「収入がよさそうだから」という選択肢も入っていましたが、それよりも「働きやすそうだから」が上回っていたそうです。2つ目は、子どもたちが会社員として挑戦してみたい分野に「科学技術・ものづくり」を選んでいったということだそうです。

1つ目のポイントについては、コロナ禍でリモートワーク、週休3日制、時差出勤などといった働き方の多様化が進み、両親が在宅勤務をしている姿を見る機会が多くなっていることが影響しているかもしれないこと。また、2つ目については、日本の国際競争力が低下してきている中、「ものづくり」についての日本の将来に明るい兆しを感じられるとの分析でした。

将来なりたい職業。将来なりたい自分。みなさんの中にはどんなイメージがあるでしょうか。11月末から12月にかけて、3年生の面接練習を行いました。なりたい職業がまだ決まっていない人は大勢いました。私は、それでもよいと思います。でも、自分はどうなりたいのかを考えることは、機会あるごとに行ってもらいたいと思っています。そうすることで、何かをきっかけにして、自分の将来のイメージが浮かぶかもしれないからです。

毎日の勉強が「何の役に立つのかわからない」と言う人がいます。「将来〇〇という教科を必要とする仕事に就くはずがないから、〇〇という教科の勉強は必要ない」と言う人もいます。ここは、よく考えてほしいところなのですが、「必要ない」と判断しているのは、「今の自分」です。「未来の自分」ではありません。「未来の自分」は、「今の自分」とまったく変わらないと言い切れるだけの根拠を持っている人は、おそらく誰もいないと思います。どうなるかわからない自分の未来だからこそ、どうなっても対応できるような準備をしておく必要があると、私は思います。つまり「未来の自分はどうなるかわからないから、今やるべきことを限定しない」という発想が、未来の皆さん自身を救うことになる可能性が十分にあるのではないのでしょうか。令和4年を終え、令和5年という新しい年を迎えるにあたり、そんなことを家族で話題にしてみてもいいかもしれません。

最後になりましたが、2学期を無事終了できましたのも、地域・保護者の皆様のご理解、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、よき年となりますようご祈念申し上げます。